

北海道 空知総合振興局 空知農業改良普及センター本所

## 普及活動PRポスター1

## 成果 ①

種粃からの米作り  
(直播技術)が岩  
見沢で確立・普及

H19: 20ha → H23: 280ha

H24: 380ha

## 成果 ②

輪作実行により畑作  
物の病害虫・雑草が  
減少傾向

麦部門の収支がUP!

米作りの重労働が解消され、  
地域の食糧生産力が向上!

空型輪作体系の確立を目指す普及活動(活動期間: H19~23)

岩見沢地域では、如何なることが起きようとも、国民に食糧生産を約束する。その使命を果たすため、低投入で持続性の高いこの輪作体系を整え、一人でも多くの農業者が存続できるように、技術に磨きをかけていく。

## 成果 ④

技術情報が充実!

## ● この技術体系のおすすめポイント ●

- 石油製品や燃料の使用が減少(エコ農法)
- 生産者の体が少し楽になる(労働改善)
- 岩見沢の生産力の向上(食糧生産UP)

## 成果 ③

代かき後の重  
労働であるゴ  
ミ上げ作業を  
解消!

直播で導入したレーザー均平機を有効活用し、水稲無代掻き栽培も普及!(H24: 1,000ha)



### ● 乾田直播ほ場における雑草萌芽生予測法

この方法は、除草剤散布時期までに、事前に発生する雑草の種類と、その発生量を予測することが可能です。無駄なく効果的に除草剤を選択、散布することができます。  
(実証期間：H19～21 3カ年)



- ・・・判定までの手順・・・
- ① 融雪後に作付ほ場から、洗面器8分目程度の土を3～5カ所から採取。
  - ② 洗面器に手で代掻きをし、自宅のハウス等に設置。
  - ③ 乾かないように、水を時折補給する。
  - ④ 約30日目から、草の形質がはっきりし、判定が可能となる。
  - ⑤ 雑草の種類や発生量を予測する。
  - ⑥ 播種後のほ場の雑草の発生予測を徹底し、薬剤選択、散布時期、散布量の準備と薬剤散布を実施する。

## 1

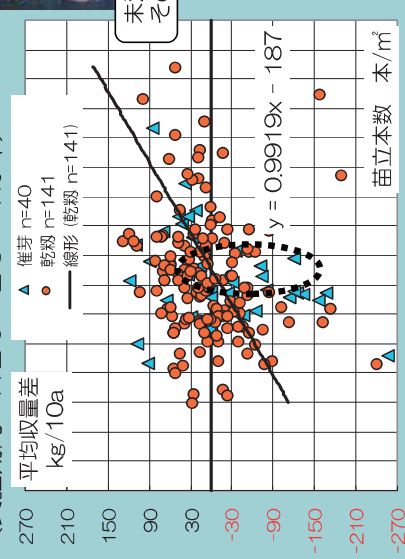
# “雪国岩見沢” 乾田乾糞直播

## “匠の技” 2つの実証技術

## 2

### ● 乾田直播ほ場における乾糞播種法

この方法は、手作業で重労働である種子予措が省力でき、乾田直播の播種の作業効率を向上させることが可能です。降雨により播種が遅れても、未消毒の乾糞は発芽力は低下せず、播種日まで保存できることも利点の一つです。  
(実証期間：H20～23 4カ年)

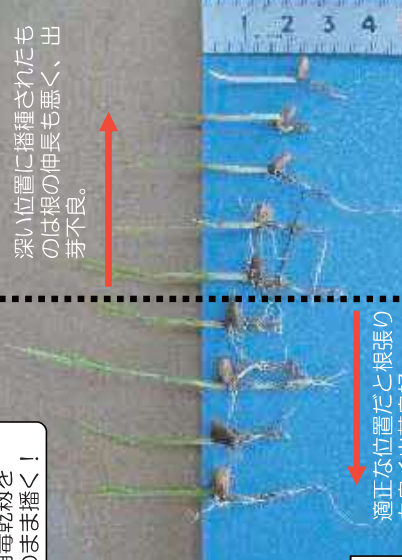


試験成績より抜粋 (H23)

175～200本/m<sup>2</sup>の階層は24個体で平均収量は4年間で525kg/10a、標準偏差は34.6で、乾糞播種の適正畝立本数は、175～200本/m<sup>2</sup>程度と推定される。

- ・・・乾糞播種の省力化・・・
- ① 種子予措の省力化
  - ② 減農薬の推進 (未消毒種子を利用)
  - ③ 出芽の時期の差を利用した、70%以上の出芽率による雑草の撃退!
  - ④ 生命力のある種子が生き残る作用を利用した、自然状態での間引き。
  - ⑤ 播種機の稼働率の向上と、播種適期の拡大 (種子の鮮度が一定である)

深い位置に播種されたものは根の伸長も悪く、出芽不良。



適正な位置だと根張りも良く出芽良好。

播種深度と畝立 (H22：乾糞)



# 普及活動PRポスター3

北海道 空知総合振興局 空知農業改良普及センター本所

## “雪国 岩見沢” 乾田乾籾直播栽培暦

月	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育経過・栽培管理	<p>冬期間はしっかり勉強会</p> <p>播種 5/7頃</p> <p>出芽期 6/2頃</p> <p>幼穂形成期 7/8頃</p> <p>出穂期 8/7頃</p> <p>成熟期 9/28頃</p> <p>倒伏は減収するので、させない</p> <p>水田が畑状態なので積極的に実行</p> <p>畦塗り</p> <p>稲わら収集</p> <p>危険期深水</p> <p>前歴深水</p> <p>たっぷり入水</p> <p>冷害回避の深水管理は移植と同じく大切!</p> <p>登熟期間が長いので最後に水を確保。</p> <p>苗立調査</p> <p>走り水</p> <p>入水</p> <p>予備入水は種子根を確認してから。</p> <p>額縁明渠で迅速な水の駆け引きを</p>																																			
	栽培のポイントと主な作業	<p>は種床づくり(春)</p> <p>①融雪</p> <p>②均平</p> <p>③施肥</p> <p>は種(耕起同時は種)</p> <p>は種(麦ドリル)</p> <p>耕起(パワー10)</p> <p>鎮圧(カブリッジローラー 1~2回)</p> <p>播種(麦ドリル)</p> <p>鎮圧(カブリッジローラー 2回)</p> <p>は種後の主な作業</p> <p>除草剤散布(出芽前)</p> <p>追肥(一回目)</p> <p>除草剤散布(一回目)</p> <p>追肥(二回目)</p> <p>除草剤散布(二回目)</p> <p>病虫害防除(一回目)</p> <p>病虫害防除(二回目)</p> <p>病虫害防除(三回目)</p> <p>収穫</p> <p>は種床づくり(秋) 小麦・大豆等の収穫跡地を乾田直播の作付予定水田として床づくりを実行</p> <p>①溝切り</p> <p>②心土破碎</p> <p>③プラウ耕</p> <p>輪作を基本とする。前作は麦を推奨し、収穫跡に土づくりを実践する。</p>																																		